

おうみネット

Ohmi Net

1999・7

NO. 12

環境問題の解決に対して
何ができるだろう。

●アピックス



「まなつのコンサートを
やりませ実行委員会」主催の
「真夏のコンサート」に
参加するおうみちゃん
詳しくはセンター
インフォメーションを

- 淡海ネット・コラム
- 環境との共存
- スポットライト
- 森林経営研究会(湖東町)
- 杉の会(朽木村)
- 日本イヌワシ研究会

- ネットワーク
- 伝言板 7月・8月の活動団体情報
- リレーエッセイ
- Voice

環境問題と市民活動



田浦 健朗さん

たうらけんろう

「気候ネットワーク」事務局長

&

聞き手 奥田 久美子

「おうみネット」編集ボランティア

「気候ネットワーク」

1998年4月19日、「気候フォーラム」の趣旨を引き継ぎ「気候ネットワーク」設立。地球温暖化・気候変動の防止のために市民の立場から活動する。

◆本部事務所（京都）

〒604-8124 京都市中京区高倉通四

条上ル 高倉ビル305

TEL.075-254-1011/FAX.075-254-1012

E-mail.kikonet@jca.apc.org

URL.http://www.jca.ax.apc.org/kikonet/

◆東京事務所

〒102-0083 東京都千代田区鞆町2-

7-3 西川ビル302

TEL.03-3263-9210/FAX.03-3263-9463

5月にデンマークで開催された世界湖沼会議は、県内の市民活動団体の代表者も参加しました。2001年には、滋賀県での開催が決定、来年はG8環境サミットが天津市で開催されます。環境問題に取り組むNGOやNPOの活動に注目が集まる今、一人ひとりの市民が、また市民活動団体が、環境問題に対してどのように取り組むことができるのでしょうか。地球温暖化・気候変動防止のために市民の立場から行動している市民団体「気候ネットワーク」事務局長の田浦健朗さんにインタビューしました。



気候ネットワークの発行物

環境問題の解決に対して何ができるだろう。

気候フォーラムから気候ネットワークへ

奥田 「気候ネットワーク」とはどういう活動をされているNGOなんですか。

田浦 97年12月に京都で国連気候変動枠組み条約締結国会議（COP3）が開催されたときに、外国のNGOや日本国内の個人、NGOの参加支援など、その中心になって活躍した「気候フォーラム」の後継組織として設立されたのが、現在の「気候ネットワーク」です。気候変動と温暖化に関する国際交渉の監視、国内政策の監視と提言、シンポジウム・セミナーなどの実施、調査、研究、情報の収集と発信に加え、国内外の個人・団体との交流・ネットワーク化など多岐にわたって活動しています。

奥田 COP3では、環境問題について、個別に深く活動されているたくさんの方の団体・個人がうまくネットワークし、横断的に活動されましたよね。

田浦 マスコミが大々的に報道したことに加え、NGOもキャンペーン活動をして一般の注目を引き、地球規模の問題の解決に国、行政だけでなく市民の声が反映できるかもしれないということを市民が実感できる機会だったと思います。

奥田 どのようにして「気候ネットワーク」につながったのですか。

田浦 「気候フォーラム」の活動の中で課題も見えてきました。行政、自治体へある程度の働きかけはできたけれど、それ以上のことはまだできていないのです。これまで果たした役割からさらに期待も生まれ、継続組織をつくる必要が出てきたわけです。しかし、継続させるためには財源を確保することが大きな課題です。10年くらい財源の見通しがあれば、いろいろな活動が考えられると思います。財源の確保という問題はNGO共通の課題ですね。今の財源は、助成や寄付、会費などで、人件費な

どの一般経費は調査、プロジェクトと違って助成を受けることが難しいので、サポートしてほしいですね。これらの社会は、NGO、NPOが盛んにならざるを得ないと思っています。企業の人、行政の人余暇の時間は同じ市民ということであまり垣根をつくらないでやっていくのがいいのではないのでしょうか。

一般市民が環境問題に関わるには

奥田 市民活動には、近づきたい見えない壁があるような気がして、もともと個人がそれぞれの立場で参加し、うまく融合していきけるかと思うのですが。

田浦 環境先進国のドイツや北欧では、うまく市民が主体となって社会の政策決定がなされています。こういった環境問題をきっかけにして、日本でも民主的な社会制度のあり方みたいなものを見つめていきけるのではないのでしょうか。

奥田 企業や行政は目に見えて変わってきていると思われませんか。

田浦 企業の取組みはCOP3で非常に変わりました。本質的に気候変動問題の解決に向かっているとは思いませんが、企業の対外的な姿勢は大きく変わったと思います。コマースにしろ環境に優しい企業ということを出すようになってきています。そうしないと企業として存続できないのかもしれないですね。行政の方も、今までのやり方では、市民の協力は得



田浦さん

環境との共存

今年は19XX年最後の年である。もうすぐ20XX年に足を踏み入れようとしている。1999年から2000年になったところでその間に決定的な違いはないのであるが、100年というスパンで私たちの時代を再考し、未来を見つめてみるのには、絶好の機会である。

今年は地球上の人口が60億人を超える年だという。100年前の人口は16.5億人だったので、100年間で約3.6倍になったという勘定になる。2050年には89億人になるという予測がされているが、どうなるであろうか。20世紀はすべてが拡大指向の時代であった。人口、エネルギー消費、土地開発、資源採取そして廃棄物、これらをすべて拡大してきた。その結果、さまざまな環境の劣化が各地でまた地球規模で問題となるようになった。拡大指向の世の中は、人間生活が最終的に環境によって支えられている限り、その制約にぶち当たることになる。それが環境劣化として顕在化するだけでなく、環境劣化が人間の生命と健康、経済生活、精神生活、文化生活をも脅かすことになる。それが、現在の環境問題といわれるものを持っている意味であろう。

翻って考えてみると、人間が環境によって生かされている生物である限り、環境と共存できる生活を指向することに人間の幸福があるはずである。そうであれば、自然環境への影響をできるだけ小さくする生活をめざす方向に進むことが、私たちの喜びとなるはずである。だが、人間の個人的欲望と環境との共存は相容れないと思っているのも現実である。なぜなら、人間の幸せを他人と共有できない個人の排他的な利益にすべて置き換えてしまうと、自己の利益のために他のものはすべて犠牲にしまい、自然との共存などはとんでもない話になってしまうからである。しかし、私たちの喜びには、もうひとつ別の喜び、すなわち他人（自己以外）と共有することによって味わうことのできる喜びがある。このような喜びを味わえる社会をつくるのが、人間と環境との共存を実現する時代における人間らしい人間、生物らしい人間、本来の人間を取り戻すことにつながるのである。人間と人間が分ち合える喜びを知ることができれば、次に環境との共存を人間の喜びにすることができるであろうからである。



仁連 孝昭 (にれん・たかあき)

滋賀県立大学環境科学部教授
(財)淡海文化振興財団運営会議座長
1948年生まれ。著書「持続可能な水環境政策」(共著、技報堂、1997年)、「水文・水資源ハンドブック」(朝倉書店、1998年)など。

られないのではと気がついてきているように思いますね。
奥田 実際に活動していかないといいけない一般市民というのはどうでしょう。
田浦 市民側の活動は一部の人に限られていて、多くの人が社会づくりに責任をもって参画しようとしていないように見受けられます。環境の悪化に気づき、なんとかする必要があると考えている人たちが非常に多いのに、実際に環境に配慮した生活や取り組みができていないと思います。

奥田 コアになっている人が危機感を持っているけれど、それが一般に広がるという点で弱いということでしょうか。
田浦 日本のNGOは弱いといわれますが、関わっている人には優秀な人も多いと思います。広がらないのは一般の人のサポートが足りないことも一因でしょうね。教育とかマスコミとかいろいろなところに原因があるのかもしれない。しかし、**実際に活動できなくても、何かが関心ある市民活動団体の会員になるだけでもいい**と思います。そんな広がりがあれば随分変わってくると思います。スウェーデンでは一人あたり平均3つのNGOに参加しています。寄付控除とか社会の仕組みの問題もあります。寄付控除と社会の仕組みの問題もありませんが、やはり人々の意識が高い。NGOを育て、また自分自身も育てられ、政府の機関で働くNGOの人や、NGOで働く政府の人がいたりという風に、垣根なくやっています。どこにいても自分が「こういうふうなやってみよう」と堂々と主張できる社会というか、社会に対する意識の高さが日本ではまだまだです。

地球温暖化防止に向けて
奥田 そういう意識をつくっていくといたうのが、NGOやNPOが定着するのに欠かせない所ですね。これから気候ネットワークがやっていきたいことは何ですか。
田浦 温暖化問題は全ての社会・経済活動に関わるし、皆さんに関わる問題です。**ネットワークとしてつながりを持ちながら、活動を続けていくことが大切**だと思っています。従来の活動のほかに、入門向けのセミナーの実施やわかりやすい資料を作成したいと思っています。わかりにくい国際交渉や京都議定書も中学生が読んでもわかるものができればと思っています。また、公害は加害者と被害者というのがありますが、地球温暖化はみんなが加害者であり、被害者であるという意味で難しい問題です。地域での対策がもっと進むことを考えています。温室効果ガスを削減することにより、環境に優しいまちづくりができるという試みがいろいろな地域でなされていって、それをネットワークでできればいいと思います。スウェーデンには、NGOと自治体が協力して、「化石燃料を使

わないまち」を目指している自治体があるそうです。自分の住んでいるところの近くでそういう環境に対する取組みがあれば、顔が見えるというかもっと地域の人が参加しやすいと思います。
奥田 地球温暖化問題はだれもが危機意識をもって取り組まなければならない問題ですね。それにしても一度にいろいろなことをしなくてはいいけないですね。
田浦 幸いいろいろな人が関わってくれているので、多くのことに取り組むことも可能だと思っています。いろいろな出会いがあるので、参加することで得られることも多いと思います。楽しい気持ちを大切にしながらやっていきたいですね。

インタビューを終えて 編集ボランティア 奥田

温暖化問題に取り組むNGOと聞くと、なんかすごい組織だ!というイメージをもたれませんか。けれど、お話を伺って、非営利で私たち市民の力をいかして活動していくことは、組織の規模や活動の範囲に関わらず共通の問題点、活動のおもしろさ、そして社会へ影響を持つことができました。できることから楽しく自分なりにやってみることは、社会的責任にも通じるのです。

スロートライト

環境・福祉・まちづくり…、
滋賀県内外でキラキラ元気に活動されている方々に
スポットライトをあて、その活動を詳しく紹介します。



自然も増えて経営的にも成り立つ そんな山の暮らしは 「ギンナンを植えること」

環境保護の啓発だけにとどまらず、
山の暮らしも成り立つ活動は
できないだろうか

湖東町の村田三郎さんを中心に「森林経営研
究会」が発足し、最初のアイデアが「ギンナン」

でした。銀杏は手入れが少なく、農産物としてお米より利
益があがる、秋の黄葉が美し
く、大気浄化にも役立つなど、
すぐれた点がたくさんありま
す。問題は、収穫まで10年近
くかかることと、ギンナンの
消費量が不明な点。それでも
この8年間に会員や知人の土
地や畑、遊休地など15ヘクタ
ールに3000本の銀杏を植

樹してきま
した。会で
植える銀杏
は「藤九郎」
という実が
大粒で収穫
期の長い品
種。実生か
ら育てた苗
を継ぎ木
し、高さは
梨の木ほどなので採果しやすいとのこと。



◀ 銀杏の植樹

植樹は楽しくやろう

会員数は現在75名、楽しくやろうという会な
ので、植樹に行くときはたいてい「芋煮会」と

セットになります。ま
た雑草除去に播くソ
バの収穫やソバ打ち
大会も好評です。
村田さんの土地には
銀杏が200本。来年
から出荷が始まり50
0キロの予定、さ来年に
は？トンと見込んでいま
す。もくろみ通り、数十年
後には「ギンナン御殿」が
建つでしょうか。

ギンナンの実に 夢を託して…

「将来の食料不足に備える」
「中山間地にも人が住めるよう
になり、人口の流動化が始まる」
ロマンにあふれた

「森林経営研究会」
はギンナンの実に
夢を託し、自然を増
やしながら経営も
成り立たせる山の
暮らしを考え続け
ています。

(編集ボランティア
大山純子)



森林経営研究会

〒527-0138 愛知郡湖東町北菩提寺
TEL・FAX 0749-45-0637 代表 村田三郎

人数 約75人

活動区域 県全域 設立 1991年



銀杏の植樹 ▶

「雑木山から生活文化を問い直す」

生活文化の源流は雑木林に

「雑多なものがたくさんある方が、おもしろい
でしょう。それぞれ

の植林、キノコの原木栽培などの生産活動・
草木染めや炭焼き、雪中体験などを盛り込
んだ親子教室・キノコ狩り・フィルム

イヌワシは、自然界の教師

絶滅の危機は
我々人間への
メッセージなんです



事務局長の山崎さん



◀ 芋煮会風景



▼今北さん



の良さが、たくさ
んある。生活も人間社会も同じ」「ほ
とら山、タキモンヤマ、牛もん、焼き畑など、
山の暮らしと結びついた言葉が、たくさんあ
るんです」「栃は森の守り神。山
の安全を願って、12月の山じ
まいの時には、しめ縄を
かけ、啓蟄には一番に
挨拶に行く、決まった
木があるんです」山
案内をしながら、と
つとつと語られる今
北さんの言葉から、
山への深い愛情が伝わ
ってきます。

「これからもミニ水力発電を作ったり、ポンプ
でおいしい水を汲み上げたり、またたけ菌を
発生させて山に戻したりして活動と仕事の質
を深めていきたい」と自然に生かされたくら
しへの夢は広がります。

自然に生かされたくらしを目指して

レ谷の雑木山約25ヘクタールが、「柚の会」の
共有山。山の頂上からは、日本海側の若狭湾
が遠望できるそうです。
源流域、最奥の支谷、通称シチグ
レ谷の雑木山約25ヘクタールが、「柚の会」の
共有山。山の頂上からは、日本海側の若狭湾
が遠望できるそうです。

「雑木山を共有化する運動を通して、私たちの
くらしを問い直したい」
そんな想いでスタート
した柚の会の会員は、
現在約100名。遠くは山
形にまで至ります。

「プロジェクト・シチグ
レ100」と称して、多彩な
活動を展開。街や地元
のシチグレ谷をワイ
ルドにして、栃や胡桃



石田和子

（編集ボランティア
石田和子）
「いいようがありません」
うりはだかえでの内皮
で編まれ、使いこなさ
れた鈍入れと同じよう
に、自然への愛しさあ
ふれる言葉が森にこだ
ましました。

柚の会	
〒520-1442 高島郡朽木村生杉547	TEL・FAX 0740-38-5112 今北哲也
人数 約100人	活動区域 朽木村 設立 1981年



イヌワシに魅せられて



羽を広げると2m
にもなるという猛
禽類のイヌワシ。
最近「絶滅」を危惧
される鳥として注
目されていますが、
その生息は近年ま
で知られていませんでした。野洲町に住む獣
医師の山崎亨さんは、25年以上前にイヌワシ
の営巣地が鳥取県の氷ノ山で発見された頃か
ら、そのイヌワシに魅せられた一人です。1
980年、同様に全国でイヌワシを研究して
いた人々が集まって合同調査を行ったことが
きっかけで、研究と保護のためには全国的な
協力体制と情報交換が必要と、翌年「イヌワ
シ研究会」が発足しました。

絶滅の危機が迫る！

イヌワシは広葉樹林など自然の豊かなところで
ノウサギやヤマドリ、ヘビを主食と
し、現在日本に約160つがいが生

息。食物連鎖の頂点にあるために、開発に
よる森林伐採や、針葉樹の植林、農業や産廃な
どによる環境汚染、エサとなる中小動物の減少
によって絶滅の危機に追いつめられています。
「1986年から急激に繁殖成功率が低下して来
たんですよ。20%を切った今はもう絶滅がさけ
られない状態です」。イヌワシが好きで研究を始
めた山崎さんですが、生息の解明とともにイヌ
ワシの危機状態、地球環境の悪化をも知らされ
ました。

**イヌワシの姿を見続けることは
私たち人間の義務**

「卵を生まなくなった原因は環境ホルモンの影
響が考えられます。政府の保護増殖事業も始ま
ったのですが、これはイヌワシだけの問題では
ないですよ。彼らが地球の健全度を示してら
んです。人間へのメッセージです。絶滅種を保護
増殖することだけに目が行きがちですが、我々
人間の問題として、彼らが住めるような環境を
残すことが大切なんです」と山崎さん。
週末はほとんど山へ出かけるという研究会のメ
ンバーは、現在160名。イヌワシの生息状況



日本イヌワシ研究会	
〒520-2341 野洲郡野洲町行畑482-57	TEL・FAX 077-587-1441 事務局長 山崎亭
人数 約160人	活動区域 全国 設立 1981年

のモニタリングや情報提供だけでな
く、海外の保護、研究機関と
の情報交換など国際的なレ
ベルでの活動も行っています。
60kmのなわばりを持つというイ
ヌワシ。天狗伝説の主として、その
勇壮豪胆で美しい姿を私たち人間は見続
けることができるのでしょうか。豊かな
自然を守って行くことができるのでしょ
うか。山崎さんから研究会のメンバーの願
いは私たち人間の義務でもあるのです。
（編集ボランティア 松井由美子）

一緒に楽しみませんか？

マタニティーと幼稚園前の親子の会 いっしょにあ・そ・ぼっ！

7/1 [木]・2 [金] 8/25 [水]・26 [木]
場所●今堀直子自宅 守山市伊勢町
(JR栗東駅サティ側徒歩10分弱)
内容●マタニティーの方はおしゃべりに！
親子の方は季節にあった遊びに！元・幼稚園・保育園で働いた只今子育て真っ最中の私と仲間と楽しい時間を過ごしましょう。
参加費●親子の会/300円(2人目より100円プラス) マタニティーの会/100円
問合せ●077-583-4315 (6時以降) /今堀

高層湿原にキンコウカを見に行こう！

7/4 [日] 9:00集合
集合場所●マキノ高原管理事務所
内容●赤坂山に夏の到来を告げるキンコウカの黄色鮮やかな花。この時期三国山湿原に群生。木道の傍らで無数の花をつける素晴らしい様子をぜひ。
問合せ●0740-28-1188
マキノ町観光協会/梅本
中止等の確認は 0740-27-1385 谷口

バースデー・サイエンス ワークショップ ~女性のためのストレスマネージメント~

7/18 [日]
受付13:00 開始13:30 ティータイム15:00
場所●草津コミュニティ支援センター
内容●元気な女でいるために、「ゆらぎ」の時代を生きぬくために、ストレスの解消を図りませんか。
参加費●1,000円(紅茶、お茶菓子、個性レポート付)
定員●15名
託児●有 300円(要予約)
問合せ●077-566-2298 (FAX)
個性心理学子育てネットワーク/金澤

第10回 真夏の音楽会(10周年だよ)

7/25 [日] 9:00~21:30
場所●金亀公園 野外ステージ
内容●演奏したい人は、誰でも演奏でき、参加できる音楽会。
問合せ●0749-24-0916
まなつのコンサートを
やりまっせ実行委員会/寺村
※表紙・センターインフォメーション参照

メダカの調査を一緒にしませんか。

7/31 [土] (雨天の場合 8/1 [日])
集合場所●近江中庄駅前駐車場 9:30
内容●絶滅が心配されるメダカの調査。マキノ自然観察倶楽部では、メダカ池を作って、身近に観察できるようにしたいと考えています。
問合せ●0740-28-1188
マキノ町観光協会/梅本

一緒に考えませんか？

ビデオ上映会 「子どもたちとオゾン層を守ろう」

7/3 [土] 13:30~16:00 ピアザ淡海2階 201会議室、7/24 [土] 10:00~12:00 大津ふれあいプラザ4F視聴覚室
講師●柴田英俊氏(紫外線教育研究所所長)
内容●アウトドアインストラクターとしての経験から幼児期の環境教育に取り組む柴田氏がやさしく説く「太陽と賢くつきあう法」
参加費●カンパ制
問合せ●077-523-1938
「地球村」おおつ/中川
(Email:selesta@ky.xaxon.ne.jp)

生き方研究会 滋賀交流会

◆ビデオ講演会・交流会
7/4 [日] 10:00~12:00 交流会13:30~
場所●大津市生涯学習センター視聴覚室
内容●「幸せで健康な生き方」
参加費●500円(交流会)
◆講演会
8/21 [土] 14:00~
場所●ウィングパレス草津 309号室
内容●「幸せで健康な生き方」
参加費●1,000円(参考書籍代を含む)
◆交流会
1) 7/3 [土]・8/28 [土] 13:30~16:00
2) 7/11 [日]・8/29 [日] 13:30~16:00
場所●1) ウィングパレス草津
2) 彦根市文化プラザ
内容●家族、知人、友人との関わり方に関する勉強会。
参加費●500円(会場費等)/初回無料
問合せ●077-561-7902 田中

講演会 「7ヶ国語で話そう」

7/9 [金] 10:30~12:30/18:30~20:30
場所●草津市立勤労福祉センター 3階大会議室
講師●安本欣司氏(言語交流研究所 理事)
内容●同時に複数の言語を家族や仲間と自然に習得しながら、民族や言語の壁を越えて真の国際交流をする=多言語活動について。
託児●有(無料)
問合せ●077-553-4148
ヒッポファミリークラブ/堀内

生活学校 近畿ブロック研究集会

7/29 [木] 13:30~16:00
7/30 [金] 9:00~11:30
場所●ピアザ淡海
内容●高齢者問題、子供の教育問題、環境問題、活動の活性化問題以上4つの分科会。住みよいまちづくりをめざしています。
参加費●2日間で500円
問合せ●077-545-8992
生活学校連絡会/菅谷

茜トークサークル 第53回例会 「生と死の学び」

7/31 [土] 13:30~16:00
場所●大津市生涯学習センター
講師●井上丈彦氏(大津赤十字病院 内科部長)
内容●「患者の思い、医者への思い」
参加費●500円
問合せ●077-522-6897
茜トークサークル事務局/木下

わたしのまちにもつくろう！ 「NPO支援センター」なんでもトーク

9/5 [日] 10:00~12:00 受付9:30~
場所●滋賀県立文化産業交流会館
内容●「NPO支援センター」で情報交換のできる場。何か素敵なヒントの見つかる場。私たちの身近にあればいいですね。どうしたらできるんだろ？そんなことをみんなで考えてみませんか。
対象●県内NPO所属の方
募集人員●48名
応募締切●8/27 [金]
問合せ●090-3279-6313
びわこボランティアネットワーク委員会/前原
(E-mail:tukinowa@mx.biwa.ne.jp)

カウンセリング勉強会

毎月 第2水曜 19:00~21:00
第4木曜 10:00~12:00
場所●ひこね燦ばれす
内容●いじめ、不登校、家庭内暴力、親子・夫婦関係、又職場の人間関係について、解くことのできる人格形成を目指します。
参加費●500円(初回無料)
問合せ●0749-27-0313 マザーカウンセリング協会 彦根教室/比佐野

参加しませんか？

奥びわ湖 西浅井 フォトコンテスト作品募集

受付期間●7/1 [木] ~8/30 [月]
内容●自然豊かな西浅井町の四季折々の写真を募集。テーマ「西浅井の四季を撮る」
問合せ●0749-89-1121 西浅井町役場 奥びわ湖 西浅井フォトコンテスト事務局

ゆうゆうキャンプ「無心島体験」

7/20 [日] ~7/21 [月] 1泊2日
場所●近江八幡近辺 沖島
内容●不登校児童・生徒たちが、平常の生活環境を離れ、人の立ち入らない浜で「無人島」をつくって自然とふれあうキャンプ。
参加費●4,000円
問合せ●077-562-4144
日本リーダー養成協会ゆうゆうくらぶ YOU

夕涼みフリーマーケット in 月輪 (第3回)

8/1 [日] 16:00~20:00
場所●月の輪自動車教習コース
出店料●1,000円/1ブース
車乗り入れ方式 3.5m×6m
内容●フリマの他、みんなで考えたゲームがたくさん!!
[フリーマーケット参加者募集中]
申込み●はがきに住所・氏名・TEL・主な商品を記入して
〒520-2152 大津市月輪1-6-1
月の輪自動車教習所内
夏まつり実行委員会まで

体験教育キャンプIN 沖縄

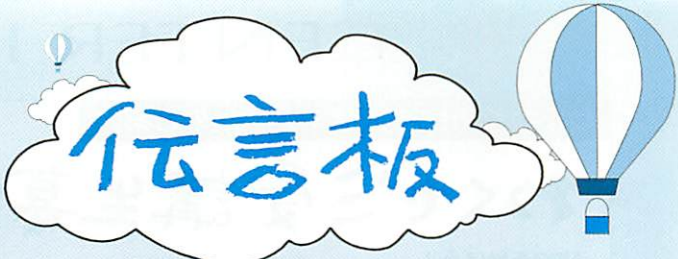
8/1 [日] ~8/7 [土] 6泊7日
場所●国立沖縄青年の家および同キャンプサイト
内容●長期のキャンプ生活を行い、協力して生活する素晴らしさを体感。
参加費●98,000円
問合せ●077-521-8567
近江の子リーダー養成研究会

'99消費生活アドバイザー資格試験対策 模擬テスト/解説講座

8/21 [土] 10:00~16:00 (受付9:30~)
8/22 [日] 10:30~15:30 (受付10:00~)
場所●ウィングパレスくさつ3階 306号会議室
内容●11試験科目についての模擬テスト受験後、解答を解説。
募集人員●30名
受講料●12,000円
締切●7/25 [日] 必着
申込・問合せ●0748-33-6098 奥田
〒523-0041 近江八幡市中小森町121-1
(E-mail:BZZ02233@nifty.ne.jp)

シュタイナー教育勉強会一年生クラス にじみ絵集中講座

8/24 [火]・25 [水]・26 [木] の3日間 10:30~12:30
内容●ルドルフ・シュタイナーの教育理論を勉強し、実践。
場所●草津コミュニティ支援センター
参加費●6,000円
定員●10名
応募締切●8/10 [火]
問合せ●077-546-4147
なないろの会/黒川
※「なないろの会」ルドルフ・シュタイナーの教育理論を勉強し、実践したいと願う親達が集まっています。活動内容は大人のためのにじみ絵講座、オリエントミー講座、情報交換会、小学一年生のためのにじみ絵や手仕事の教室等。シュタイナー教育に関心のある方、親子で学びあえる場を一緒に創りませんか



伝言板

こんなことしま〜す

開館10周年記念 コンサート 「情熱のフラメンコ」

7/3 [土] 19:00~20:00
場所●甲西町立図書館
内容●関西を代表するフラメンコ舞踊家、安部啓子出演
問合せ●0748-72-5550
甲西町立図書館

長浜おやこ劇場 人形劇「メチャクサ」

7/11 [日] 14:00~15:10
/17:00~18:10 2回公演
内容●西川禎一おひとり座によるめちやくちやくさいヘラジカの話
場所●長浜市立六角館ホール
参加費●3,000円 (会員無料)
3才以下は入場不可。
託児●有 (おやつ付300円)
問合せ●0749-64-1527
長浜おやこ劇場

タイの子供たちを支援する 「プラの会」設立記念

7/24 [土] 10:30~15:00
場所●明日都浜大津 4階大ホール
内容●基調講演と記念式典。会場に写真や資料を展示。また、日本語の本や衣類を募集して寄贈。
問合せ●077-526-1121
NPO法人「プラの会」
(Email:saiteras@nk.rim.or.jp)
NPOプラの会 入会金3,000円
月会費1,500円 (年会費18,000円)

夏「百花繚乱」押花アート展

7/30 [金]・8/8 [日] 10:00~
場所●鮎家の郷内ギャラリー「湖の風」
内容●押花アート作品約80点。
特別展示、故モノコ王妃グレースケリーの押花作品。「押花うちわ作り」教室/600円・「押花で暑中はがきを作ろう」コーナー/無料
問合せ●077-573-6884
淡海花俱樂部

長浜おやこ劇場 「悔悟の記録」

7/30 [金] 19:00~20:15
場所●長浜サンパレス
内容●劇団なんじゃもんじゃの西尾瞬三が一人で演じる大きな芝居。
参加費●会員無料/一日会員券大人3,000円 学生2,000円 (小学5年生以上対象)
問合せ●0749-64-1527
長浜おやこ劇場

大津シネマクラブ 第104回 8月例会

8/6 [金] 1)14:50~ 2)18:00~
8/7 [土] 1)14:00~ 2)17:50~
場所●大津市生涯学習センター
内容●壺井栄生誕100年と木下恵介監督追悼として「二十四の瞳」を上映。
参加費●有料
問合せ●077-534-6403
大津シネマクラブ

守山民謡愛好会 第21回 民謡チャリティーショー

8/22 [日] 10:30~16:30
場所●守山市民ホール
内容●舞台、受付への寄附を社協に年間10万円寄附。唄、踊り、協力団体社交ダンス、プロ歌手の応援出演など。
問合せ●077-582-5047 山本

開館10周年記念コンサート 「シャンソンの夕べ」

8/27 [金] 19:30~20:30
場所●甲西町立図書館
内容●あの「銀巴里」で歌ってきた、シャンソン界の巨星、堀内環さん来館!
問合せ●0748-72-5550
甲西町立図書館

すべての破壊の原因は？

「地球村」おおつ 中川学

手から手へ 8 リレーエッセイ

「地球村」は少し変わったNPOかも。でも、内実はとてもノーマル＆ラジカル。例えば、こんな風:「ホームレスのおっちゃんや、ほんまもんのエコロジストやね。エネルギーの無駄使いはないし、ゴミはトコトン有効利用、人を傷付けたらもせえへんし。」あるいは、「環境が大事でわかってるんやけど:「いやいや、ほんまに大事なあんたの人生。」「えっ」「皆がホントの意味で人生を大事にしたら環境なんてカンタンにうったた大事の意味を取り違えてるだけやで。」それから、「環境って儲かるんか?」儲かりはせんけど生活は楽になるわ。」「っっっ。」



「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

次回、「滋賀で公開討論会を
実現させる市民の会」
北川恭司さんです。お楽しみに。

「地球村」は少し変わったNPOかも。でも、内実はとてもノーマル＆ラジカル。例えば、こんな風:「ホームレスのおっちゃんや、ほんまもんのエコロジストやね。エネルギーの無駄使いはないし、ゴミはトコトン有効利用、人を傷付けたらもせえへんし。」あるいは、「環境が大事でわかってるんやけど:「いやいや、ほんまに大事なあんたの人生。」「えっ」「皆がホントの意味で人生を大事にしたら環境なんてカンタンにうったた大事の意味を取り違えてるだけやで。」それから、「環境って儲かるんか?」儲かりはせんけど生活は楽になるわ。」「っっっ。」

Voice

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「CLICK!!」のメンバー。

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)



読売新聞掲載記事▶

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

「地球村」おおつ
中川学
(大津市)

わくわく市民活動ゼミナールのご案内

わくぜ3受講生募集!!

NPOを学ぼう!

■ 第3回 NPOと資金調達 ～金融ビッグバンの可能性を探る～

講師 ● モンテ・カセムさん (立命館大学政策科学部教授)
日時 ● 7月16日 (金) 午後6時30分～8時30分
場所 ● ウィングパレスくさつ [草津市立勤労福祉会館] 大会議室
(草津市西大路9-6 TEL077-564-7200)

ワークショップを体験しよう!

■ 第4回 「市民活動のための会計」

講師 ● 酒谷宜幸さん (公認会計士・ブレインパートナー代表取締役)
日時 ● 7月31日 (土) 午後1時30分～4時30分
場所 ● 彦根勤労福祉会館 大ホール (彦根市大東町4-28 TEL0749-23-4141)

■ 第5回 「市民活動の創造 ～思いを形にして発信しましょう!～」

講師 ● 吐山継彦さん (企画・編集事務所『言葉工房』)
川口謙造さん (大阪ボランティア協会事務局主幹)
日時 ● 8月28日 (土) 午後1時～5時
場所 ● 滋賀県立女性センター 大ホール
(近江八幡市鷹飼町80-4 TEL0748-37-3751)

受講定員 ● 各回50名 (先着順) 受講料 ● 1回500円
お申し込み先 ● 淡海ネットワークセンター

NPO活動アドバイザー派遣制度のご案内

市民活動の悩みにお答えします

対象 市民活動を行っている団体またはこれから活動を始めようとするグループ。

分野 主としてボランティア等の市民活動に関するもの。

経費 1団体あたり最初の1回に限り、アドバイザーの謝金及び交通費をセンターが負担。

お問い合わせ 淡海ネットワークセンター阿部まで。

手続き

アドバイザー派遣依頼書提出

センターが調整・派遣決定

派遣

アドバイザー派遣報告書提出

引き続きアドバイザーが必要であればセンターが仲介
(派遣にかかる費用は団体負担)

市民活動フェスティバル

市民活動フェスティバルin淡海 9月に開催。

市民活動・NPOに関する情報交流のためのフェスティバルを9月にピアザ淡海で開催します。内容は公募による実行委員の方々と考えていきます。皆さんもぜひご参加下さい。お楽しみに!!

第3回福井・滋賀・三重市民活動フォーラム

県境を越え3つの「うみ」を結び 夢ネットワーク

県境を越えて互いに情報交換し、市民活動のこれからの夢を語り、その活動の輪をさらに広げます。

開催日時 ■ 11月7日 (日) 11:00～17:00

開催場所 ■ 鯖江市郷陽会館ほか

参加者 ■ 約450名

詳しくは次号で!

ブックレットNO.7ができました

淡海ネットワークセンターブックレット No.7

『市民・企業・行政のパートナーシップを求めて

～第2回おうみ市民活動交流会記録』ができました。

3月6日に開催した交流会での基調対談や各分科会の内容をまとめています。一部300円 (送料160円) です。詳しくは淡海ネットワークセンターまで。

7・8月号の表紙

寺村邦子さんを代表とした「まなつのコンサートをやりませ実行委員会」は音楽を媒介にして心と心の交流を深めようと、音楽を楽しむ時間と空間を提供し続けています。誰でも演奏でき、誰でも聞ける手作り音楽会「真夏のコンサート」。毎年1回、彦根城内の金亀公園の野外ステージで開催。年齢・国境を越えて様々な人が参加。10周年となる今年は7月25日 (日) 朝9:00～夜9:30 ぜひ遊びに来てください。



座禅草

編集後記

自分たちの生活を、自分たちで考えていく大切さ。

センター事務所の鉢植えの座禅草が、新しい環境に慣れ、今年やっと花をつけました。今回は、全国的に気候温暖化問題に取り組む市民団体「気候ネットワーク」の事務所を訪ねました。環境問題と言っても様々ですが、まずは自分たちの生活を自分たちで考えていくという姿勢が大切なのではないかと思っています。それは全ての分野で言えることかもしれません。このおうみネットもそんなきっかけづくりになればと思っています。

おうみネットの編集・企画に、ボランティアの参加を呼びかけ、少しずつ仲間が広がってきました。興味をお持ちの方はぜひ、センターまでお問い合わせください。9月には、ピアザ淡海で市民活動フェスティバルを開催します。センターが皆さんのセンターとなるために、センターの個々の事業にも皆さんの声を反映していけるように工夫をしていきたいと思っています。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20

TEL 077-524-8440 FAX 077-524-8442

http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net

E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時 ● 月曜日と祝日の翌日を除く毎日 (12/29～1/3を除く)

火～金曜日/9:00～19:00 土・日曜日、祝日/9:00～17:00

